

二次保健医療圏（保健所）の健康課題と取組

- 和歌山保健医療圏
 - ・和歌山市保健所 ----- 1
 - ・海南保健所 ----- 2
- 那賀保健医療圏
 - ・岩出保健所 ----- 3
- 橋本保健医療圏
 - ・橋本保健所 ----- 4
- 有田保健医療圏
 - ・湯浅保健所 ----- 5
- 御坊保健医療圏
 - ・御坊保健所 ----- 6
- 田辺保健医療圏
 - ・田辺保健所 ----- 7
- 新宮保健医療圏
 - ・新宮保健所、新宮保健所串本支所 ----- 1 3

二次保健医療圏	構成市町村名
和歌山	和歌山市、海南市、紀美野町
那賀	紀の川市、岩出市
橋本	橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町
有田	有田市、湯浅町、広川町、有田川町
御坊	御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町
田辺	田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町
新宮	新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町
計7圏域	9市20町1村



和歌山市の健康課題

がん検診の受診率が低い

心疾患、肺がん、大腸がんの死亡率が高い

特定健診の受診率は県内順位で17位と横ばい



日常生活の歩数は、20～59歳男性、60歳以上の女性で低下

野菜の摂取が少ない
1日 274g

要介護認定率が高い

小学生で朝食の欠食する割合が多い

現在の取組（がん検診の受診率向上と健康推進員養成事業について）

受診率の向上のための主な取組として、次の3つの柱で実施している。また、胃がん検診については、国の指針に先駆けて平成24年度から胃内視鏡検査を実施している。

がん検診の周知	市報わかやま、HP、地区回覧板、ラジオ・テレビ放送、民間紙などによる広報
受診勧奨	クーポン券の送付、個別受診勧奨通知、かかりつけ医からの勧奨、健康推進員による勧奨
受診機会の充実	休日集団検診、国保の特定健診や協会けんぽ組合の生活習慣予防健診との同時実施

健康推進員養成事業については、平成26年度から実施している。現在の登録数は182名である。

内訳については、平成26、27年度は食生活改善普及員、28年度はシニアエクササイズ養成講座の受講者であり、平成29年度からは一般公募にて養成している。任期が2年のため、フォローアップ研修を受けた方に、継続の意思確認をしている。

がん検診の受診勧奨については、保健所からチラシを郵送し、ご近所や知り合いの方に配布してもらっている。30年5月に実施した集団検診（乳がん）について健康推進員に依頼したところ、25人定員に49名の申込があった。中には、個別訪問で受診勧奨を担ってくれる推進員もあり、がん検診に関心のない方に対しての、行動変容のきっかけとなることを期待される。

<健康推進員の主な活動>

- ・がん検診や特定健診の受診勧奨
- ・健康週間での街頭啓発（禁煙デー、女性の健康週間）
- ・市主催の健康応援フェアでのサポート活動
- ・市のウォーキングイベントなど各種教室に参加
- ・県の健康ポイント事業に登録する

今後の展望

地域・職域連携推進事業の6つの柱の中に、健康推進員養成事業が位置づけられている。地域の健康づくりの草の根運動の中核を担う人材として今後も年間500人養成することが、県の目標となっている。和歌山市でも、現在182名の登録数があり、今後も増加していくと予測される。今後、どのように健康推進員の活動を展開していくかが早急な課題となっている。和歌山市では、4つの保健センターがあり、より身近な保健センターを拠点に健康推進員が活動できるよう、小グループ単位で組織化していきたいと考えている。

また、平成28年度国民生活基礎調査によると、がん検診受診者の約3～6割が、職域でがん検診を受診している。現状では、職域で受けた検診については、情報の共有はできていない。今後、情報の共有ができれば、受診率の向上にも反映でき、特定健診などのデータをもとに健康課題を明確にできる。地域・職域連携推進協議会では、その健康課題に対して分析をし、各構成機関・団体が担える役割を具体的に協議していくことができる。

和歌山保健医療圏地域・職域連携推進協議会（海南保健所）

現状と課題

<健康課題>

- ・心不全の SMR が有意に高い。心疾患の SMR も高い。
- ・収縮期血圧が 130mmHg 以上の人が多い。
- ・1 回 30 分以上の運動習慣がない人が多い。
- ・胃がん検診の受診率が低い。

（出典：平成 29 年 3 月 健康わかやま推進提言書）

<事業の課題>

- ・職域リーダー養成講習会の参加者数が周知数に対して少ない。
- ・職域への介入が弱い。

圏域内の主な取り組み

・運動定着事業

平成 29 年度に一度打ち切りとなっていたが、運動習慣がない人が多いこと、また、心疾患、高血圧は運動によりリスクを低減することができると言われていたことから、平成 30 年度から再開させることとなった。今年度は紀美野町のウォーキングイベントと共催予定。来年度は和歌山市か海南市で実施する予定。

・健康推進員の養成

健診・検診の受診勧奨及び減塩等啓発を行う者を増加させる。

・企業内健康推進員養成事業（職域リーダー養成講習）

今年度は周知方法について見直しをはかり、参加者増加を目指す。昨年度までのチラシ折り込みや広報掲載に加え、主に協会けんぽ等の協議会委員から直接声掛けによる周知・参加勧誘を行う。

・紀美野町地域サロン

平成 17 年から「独りぼっちの高齢者をなくそう」とサロンが立ち上がりはじめ、平成 30 年 3 月末時点で 51 カ所のサロンが役場コーディネーターのもと活動している。いきいき百歳体操や、手芸、料理、脳トレ等、各サロンにより実施内容に特徴がある。

今後の展望

- ・運動定着事業を継続的かつ効果的に実施していくための検討を行う（海南市健康まつり等、イベントと共催する）
- ・職域への介入については、和歌山市保健所と協議し進めていく。

那賀地域・職域連携推進協議会

管轄

紀の川市・岩出市

構成

地域・職域・学域

健康課題（健康わかやま推進提言書より）

○死亡の状況

0～64歳の死因のうち多い疾患は両市とも自殺が上位

SMR（H20～24）紀の川市 男性の肺がん、心不全が~~高~~低い
岩出市 男性の心不全が高い

○特定健診受診率 両市とも全国より低い。

○がん検診受診率 両市とも県や国より高いが、目標値に達していない。

那賀での取組

- 今年度協議会では、各団体から取組説明いただき、現状や課題、取組内容について情報共有を実施。
- 健康維持増進には、メンタルヘルス対策が重要と考えるため、那賀では、毎年メンタルヘルスセミナーを実施。近年では、「笑いと健康」「チェアヨガ」等、実技を交えた内容としている。
- 小さい頃からの健康教育が重要であるため出前講座に力をいれている。那賀医師会と連携し、小中学生対象に未成年アルコール予防教室を実施。また、小中高生を対象に防煙教室を実施。
- 栄養士グループ NAGA（協議会委員）に協力いただき、乳幼児や保護者対象のおやこクッキングで食育啓発を実施。

今後の展望

- 各関係機関と情報共有の上、連携強化を進め、地域課題に沿った事業を実施する。
- 地域住民へ健康づくりや健診受診等を広めるための健康推進員養成を進めていく。
- 若い世代の死亡も見られるため、働き世代の健康づくりは重要であるため、職域での健康推進員養成に取り組む。また、関係機関と連携し、健診受診率向上やメンタルヘルス対策に取り組む。
- 各市でも20～30歳代の若い世代の野菜摂取頻度が少なく、欠食の割合も多い傾向があり、引き続き、関係機関と連携し、小さい頃から正しい生活習慣を身につけさせるための健康教育に取り組む。親の世代への啓発も重要と考える。

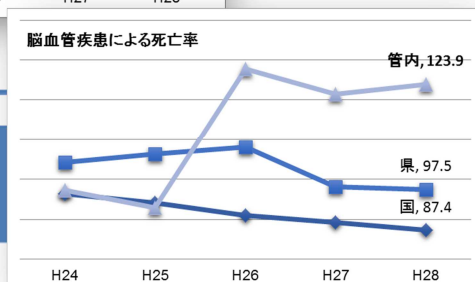
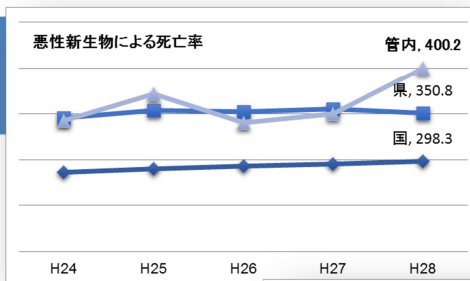
橋本保健医療圏地域・職域連携推進協議会

<設立> 平成20年5月

<組織> 伊都医師会、伊都歯科医師会、伊都薬剤師会、伊都・那賀地域産業保健センター、橋本労働基準監督署、和歌山県労働基準協会橋本支部、紀北川上農業協同組合、橋本商工会議所、高野口町商工会、かつらぎ町商工会、九度山町商工会、高野町商工会、(株)北川鉄工所和歌山工場、日進化学(株)和歌山工場、全国健康保険協会和歌山支部、橋本食生活改善推進協議会、橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町、橋本保健所

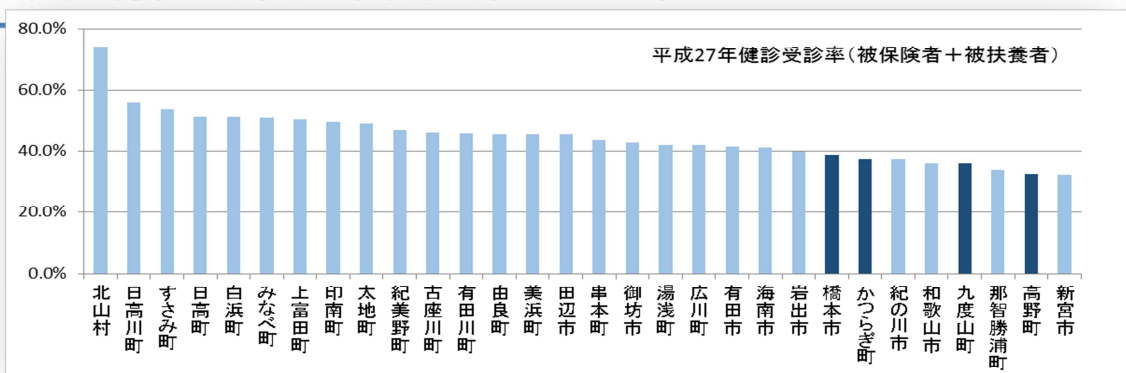
橋本・伊都管内の健康課題

- 悪性新生物による死亡率が高い
- 脳血管疾患による死亡率が高い
- 高血圧症と糖尿病が多い
- 特定健康診査受診率が低い



協議会で出された健康課題

- 国保加入者で働き盛り世代の健診(検診)受診率が低い
- 協会けんぽ加入者の健診(検診)受診率が低い(事業規模が小さくなるほど、低い傾向にある)
- 事業所において、がん検診や扶養者健診(検診)にまで対応が追いついていない
- 従業員の健康づくりに取り組む余裕がない
- 長時間労働の勤務者がいる
- 市町が実施する健康づくり事業への働き盛り世代の参加が少ない
- 市町の健康づくり事業が事業所に周知できていない



全国健康保険協会和歌山支部 第1回和歌山支部健康づくり推進協議会 資料集

協議会で提案された取組と今後の展望

- 商工会と市町・国保・協会けんぽが協力し、健診(検診)受診の機会を提供する
- 小規模事業所へも積極的に受診勧奨する
- 市町の健康づくり事業へ在勤者が仕事終わり、又は休日に参加できるよう工夫する
- 市町健康づくり事業を直接、又は商工会を通じて事業所へ情報提供する
- 働き方改革、健康増進法一部改正(受動喫煙防止対策)等、最新のトピックスについて情報提供する

有田地方地域・職域・学域保健連携推進協議会

【構成メンバー】

有田市医師会、有田医師会、有田歯科医師会、県看護協会有田地区支部、有田薬剤師会、
県栄養士会（地域活動部会）、有田食生活改善推進協議会、県母と子の健康づくり運動協議会
有田支部、事業所代表（JXTG エネルギー(株)和歌山製油所、三菱電線工業(株)箕島製作所）、
紀州有田商工会議所、各町商工会、各市町教育委員会、協会けんぽ和歌山支部、各市町、保健所

【健康課題】

圏域における健康増進計画（市町の健康増進計画を含む）

…「オレンジパワープランⅡ～2013～」

- 栄養・食生活（男性の肥満者の割合が高い、食塩を控える者の割合が低い、等）
- こころの健康づくり（ストレスを感じている者の割合が高い、等）
- 酒・たばこ（多飲酒する者の割合が高い、等）
- 健康管理（高血圧・脂質異常症の者が多い、検診受診率が低い、
ロコモティブシンドロームを知っている者の割合が低い、等）

【圏域における取組】

- 検診・健診受診率の向上
 - ・各市町とも無料クーポンの配布や電話での受診勧奨等を実施。
 - ・若い世代へは、小中学校の保護者や、乳幼児健診時に受診勧奨チラシを配布して周知。
 - ・（有田川町）29年度から特定健診受診者に抽選で商品券を渡すキャンペーンを実施。
- 健康づくり推進地区委員（広川町）
 - ・町独自に各地区に合計87名の委員を任命し、検診等の受診勧奨を実施。
- メンタルヘルス・コミュニケーション等への取組…学域保健を含めた共通の課題
 - ・保健所においてメンタルヘルスセミナーを実施し、学域や事業所等にも周知して参加してもらっている。
- いきいき百歳体操
 - ・（有田市）30年4月現在、4か所で実施中
 - 週1回：逢井集会場、砂浜会館、週1～2回：糸我公民館、週2回：野公民館
 - ・（有田川町）30年5月現在、吉備地区で27グループ、金屋地区で25グループ、
清水地区で14グループが週1回または月2回、公民館や集会場等で実施中

健康日高21推進協議会

(日高地方地域・職域連携推進協議会)

現状と課題

【SMR】

- 男女とも肺がん、胃がんが高い
全国344医療圏中
肺がん死亡率 男：ワースト12位 女：ワースト24位
胃がん死亡率 男：ワースト18位 女：ワースト58位
(平成20～24年計 SMR 東京大学公共政策大学院)

【第二次健康日高21中間評価結果(平成30年3月)】

- 働く世代への更なるアプローチが必要
運動習慣、睡眠による休養など、各項目において働く世代の結果が思わしくなかった
- 行動変容につながる取り組みが必要
食生活についての知識や歩数計を利用する人の増加はみられたものの、野菜摂取や減塩などの食行動や運動習慣にはつながっていなかった。

取り組み

【健診受診率向上の仕掛け】

- ヘルスポイント事業

【健康づくりを推進する人材育成】

- わっはっは笑いの大学(健康推進員養成講習会)及びフォローアップ研修
- メンタルヘルスセミナー

【地域特性を活用した健康増進イベントの実施】

- ウォーキングイベント

【様々な機会を通じた啓発事業の実施】

- 小・中・高校生から始める生活習慣病予防講座
- 地域・職域出前講座

【たばこ対策の推進】

- たばこ専門部会(H29設置)として地域全体での取り組み ㊦
地方紙への掲載、共通啓発物品の使用、市町職員へのアンケートなど

【働く世代へのアプローチ】

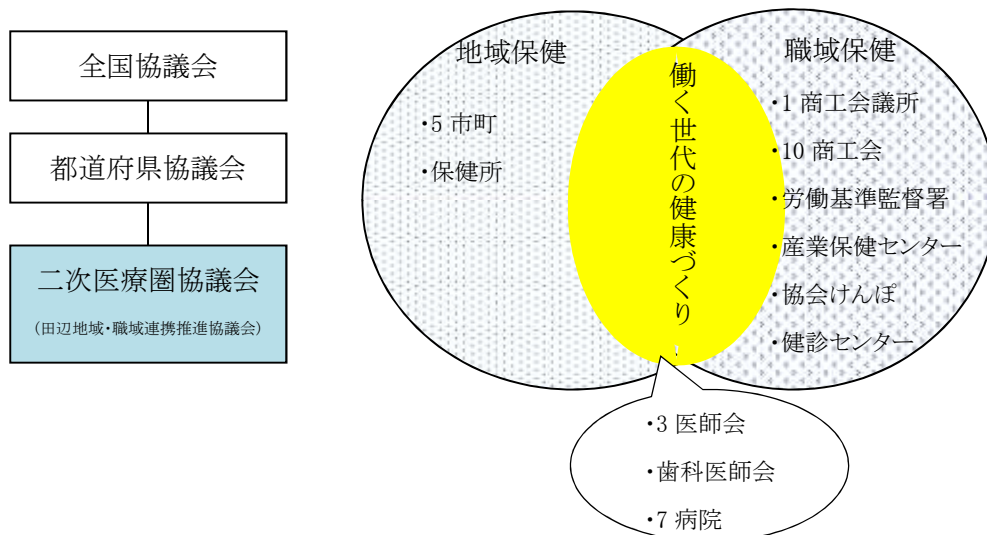
- 商工会議所、農協等との協議 ㊦

田辺地域・職域連携推進事業について

田辺保健所



【田辺地域・職域連携推進協議会の構成】



【課題】

協議会委員である商工会議所・商工会をまきこんだ、働く世代への健康づくりのはたらきかけ

【今年度の取組】

方 法：商工会議所・商工会の研修会等への出張出前講座の実施

テーマ：減塩対策（⇒和歌山県は心疾患死亡率ワースト3位であるため）

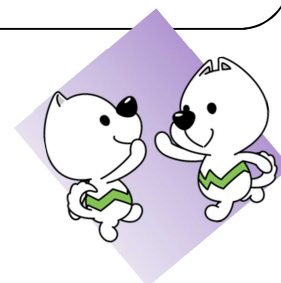
内 容：3種類の異なる塩分濃度の味噌汁の試飲による体験型学習または
2種類の旨味の相乗効果の体感による体験型学習

実 績：回数 4回、受講者 123名

【効果】

今後の生活の中で、講座での学習内容を生かしていきたい：81.3%

講座を受講し、健康づくりに興味がわいた：90.2%



平成 30 年度田辺地域・職域連携推進事業における出前講座の内容について(参考)

- 1) 和歌山県の健康状態について(平成 28 年度県民健康・栄養調査より)
- 2) 減塩対策について～ポイント解説～
- 3) 体験学習(対象者に合わせてAまたはBにて実施)
- 4) まとめ

A.味噌汁の試飲体験

0.8%、1.0%、1.2%の3種類の塩分濃度の味噌汁を用意し、それぞれ濃度がわからない状態で、下記3点に留意して参加者に試飲していただく。なお、3つのうち、一般的な家庭の味噌汁の塩分濃度は1.0%、減塩味噌汁の濃度が0.8%となっている。

試飲体験をとおり、自身の家庭の濃度・自身の味覚が適正か否かを知ることができる。

- ① 塩分濃度の濃い順に並べると?
- ② 家庭の濃度に近いのは?
- ③ 自身の好みの濃度は?



B.旨味の相乗効果の体感

かつお出汁、昆布だしの2種類を用意し、下記手順に従い、参加者に試飲していただき、どちらの味をより強く感じたか答えてもらうもの。これは、旨味の相乗効果(2種類以上の旨味が同時にあるとき、それぞれ単独の和よりも味が強くなる効果)を体感してもらうものであり、参加者は、a、b共に同じものを飲んだはずなのに、両者とも後から飲んだ方の味を強く感じるようになる。

旨味の相乗効果は、これらに限った効果ではなく、旨味を有するあらゆる食材で有効であり、これは減塩対策に活用することができる。

(手順)

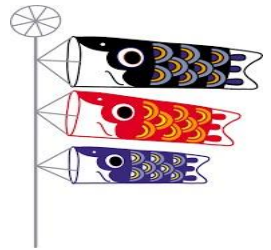
参加者をa、bの2チームに分け、aはかつお出汁⇒昆布だし、bは昆布出汁⇒かつお出汁の順番で試飲し、味を強く感じた方を直感で回答してもらう。



熊野のええもん

～くまの協議会 会報～

平成30年
第69号
2018.5月発行



労働保険「年度更新」のご準備をお願いします！

労働保険は「労災保険」と「雇用保険」の総称です。

原則として労働者を1人以上雇用する事業主は、すべて労働保険に加入することとなっています。その保険料は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間を単位として計算されることになっており、その額はすべての労働者（雇用保険については被保険者）に支払われる賃金の総額に、その事業の種類ごとに定められた保険料率を乗じて算定されます。

保険料は保険年度ごとに概算で納付いただき、保険年度末に賃金総額が確定後、精算となります。したがって、事業主は前年度の保険料を精算するための申告・納付と、新年度の概算保険料を納付するための申告・納付が必要となります。

【平成30年度の雇用保険料率】

事業の種類	負担者		② 事業主負担		①+② 雇用保険料率
	① 労働者負担 (失業等給付の 保険料率のみ)	失業給付の 保険料率	雇用保険 二事業の保険料率		
一般の事業	3/1,000	6/1,000	3/1,000	3/1,000	9/1,000
農林水産・※ 清酒製造の事業	4/1,000	7/1,000	4/1,000	3/1,000	11/1,000
建設の事業	4/1,000	8/1,000	4/1,000	4/1,000	12/1,000

※ 園芸サービス、牛馬の育成、酪農、養鶏、養豚、内水面養殖および特定の船員を雇用する事業については一般の事業の率が適用されます。

協会けんぽの保険料率が変更されています。（平成30年3月分 4月納付分～）

給与・賞与の
10.06%
平成30年2月分
(3月納付分)まで

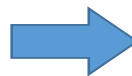
健康保険料率



給与・賞与の
10.08%
平成30年3月分
(4月納付分)から

給与・賞与の
1.65%
平成30年2月分
(3月納付分)まで

介護保険料率



給与・賞与の
1.57%
平成30年3月分
(4月納付分)から

※介護保険料は40歳から64歳までの方（介護保険第2号被保険者）にご負担いただくもので、全国一律の保険料率です。

雇用保険手続きの際には必ずマイナンバーの届出をお願いします。

マイナンバーの記載が必要な届出・申請書などは次のとおりです。

- ①雇用保険被保険者資格取得届
- ②雇用保険被保険者資格喪失届
- ③高年齢雇用継続給付支給申請
- ④育児休業給付支給申請
- ⑤介護休業給付支給申請

①～⑤の届出等（③④は初回の申請）の際には、届出等に必ずマイナンバーの記載をお願いします。

③④のうち平成28年1月以降に初回申請を行った際にマイナンバーの届出を行っていない場合は、2回目以降の申請時等の機会を捉え、個人番号登録・変更届をあわせてお持ちください。

▽ “健康” を考えよう ～田辺保健所～

はじめまして。田辺保健所保健福祉課の千田（せんた）と申します。

今年度、くまの協議会会報をとおして、「健康づくり」についてのお話をさせていただきますので、1年間どうぞよろしくお願い致します。

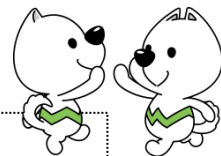
先日、全国健康寿命ランキングが公表されましたので、ご紹介します。

《▼健康寿命ランキング（2016）》

順位	健康寿命	
	男性	女性
1位	山梨県（73.21歳）	愛知県（76.32歳）
2位	埼玉県（73.1歳）	三重県（76.3歳）
3位	愛知県（73.06歳）	山梨県（76.22歳）
⋮	⋮	⋮
37位	⋮	和歌山県（74.42歳）
43位	和歌山県（71.36歳）	⋮
⋮	⋮	⋮
46位	秋田県（71.21歳）	広島県（73.62歳）

（※熊本地震により、熊本県のデータはなし）

○健康寿命とは
健康上の問題で、日常生活が制限されることなく、生活できる期間のことです。健康で長生きするには、1.食事、2.運動、3.休養といわれております。どれか一つが欠けてもいけません。



ご覧のとおり、残念ながら本県は全国に比して健康な時期が短く、男性 43 位、女性 37 位といずれも低位でした。本県では、この「健康寿命」を延伸させ、地域の皆さまに末永く健康で楽しく過ごしていただくために、「みんなで実践！健康づくり運動ポイント事業」や健康づくりセミナー等様々な事業を実施しております。これから、皆さまの健康のお役に立つ情報を発信させていただきますので、ぜひ見てください！

和歌山県火災共済協同組合

4月より和歌山県火災共済協同組合では、普通火災共済・総合火災共済に特約として、**類焼見舞金保障を付帯**いただけるようになりました。

類焼見舞金補償特約とは

ご自分の家やお店が火事になってお隣やご近所が類焼してしまった場合に、類焼先へお見舞金をお支払いいたします。

お支払いする損害

ご契約された動産またはこれを収容する共済契約証書記載の建物から発生した火災、破裂または爆発による事故の場合に対象となります。

年間掛金

建物の構造や共済金額に関係なく

一律年間掛金 1,500円

総支払限度額

1事故につき 3,000万円



損害の程度	お支払い額
類焼先が 全損 の場合 (時価の 80%以上の損害)	300万円 または時価損害額のいずれか低い額
類焼先が 半損 の場合 (時価の 20%以上 80%未満の損害)	150万円 または時価損害額のいずれか低い額
類焼先が 一部損 の場合 (時価の 20%未満の損害)	50万円 または時価損害額のいずれか低い額

▽6/15（金）第2回龍神村ホテル祭り～龍神～

龍神お宿の会、(公社)龍神観光協会、龍神村商工会で構成するホテルとともに光かがやく龍神村づくり事業実行委員会は、龍神村ホテル祭りを開催します。

龍神お宿の会は、ホテルの餌となるカワニナやホテルの幼虫の飼育から始め、龍神村をかつてのようなホテルの里となるよう数年にわたり活動をしています。

第1回目の昨年は、たくさんのお客様にホテルの乱舞をみていただくことができ大盛況でした。今回もホテル観賞はもちろんとして、大勢のみなさんに楽しんでいただける企画をご用意します。ご家族そろってお越しください。

日時：6月15日（金）18：00～21：00 ※小雨決行
会場：がまの湯 田舎宿 川口 TEL 0739-77-0344
田辺市龍神村小家 1013-3



▽『中辺路のんびりマップ』完成！～中辺路～

4年前に作成した『中辺路のんびりマップ』が好評で、第2弾を作成しました。

中辺路町内の飲食店や宿泊施設を紹介したリーフレットで、各お店のオーナーさんの顔写真、メッセージ入りとなっています。親近感、安心感のある温かみあふれるマップに仕上がりました。また、近年増加を続ける外国人観光客向けに英語バージョンもご用意しています。のんびりマップ片手に中辺路のお店めぐりを楽しんでもらえればと思っています。

お問い合わせは中辺路町商工会

(電話0739-64-1002) まで



金融情報

～ご融資のご相談はお近くの商工会へ～

◎経営改善貸付 1.11%

◎一般貸付 1.16%～2.25%

◎教育ローン 1.76%

日本政策金融公庫 (H30.4.11現在)

労働情報

～和歌山県の最低賃金～

時間額 **777円**

(効力発生の日 H29.10.1)

～会員紹介～

- ① 事業所名 お好み焼き ほん和か
- ② 所在地 〒647-1741 田辺市本宮町大居 2092-2
- ③ 電話番号 0735-30-0629
- ④ 店の紹介

平成 26 年に本宮町で創業したお好み焼き店。
たっぷりのキャベツと山芋を使用したお好み
焼きはボリュームがあり、ふんわりとした食感
を楽しむことができます。

店主夫婦がこだわって造形された中庭は、お好
み焼き屋さんというよりは、おしゃれなカフェ
を思わせます。

個室も多く備えており、ゆっくりしたお食事の
時間を楽しめるように工夫を凝らしています。

⑤ 営業時間等

営業時間：11：00～21：00
（ラストオーダー：20：00）
定休日：毎週水曜

⑥ 事業主さんからのコメント

商工会さんには、創業当初からお世話になっていて、商売を始めることの難しさと楽しさを日々実感し
ています。粉物は、厳選した食材とダシをとった特製だしが命だと思っています。

店主こだわりのお好み焼きを是非一度お試しください。



店内写真



なんでもご相談ください！ 広域商工会くまの協議会

経営支援センター（上富田町商工会内）TEL0739-47-1531・FAX0739-47-3689

上富田町商工会 TEL 0739-47-1531 大塔村商工会 TEL 0739-49-0171 中辺路町商工会 TEL 0739-64-1002
本宮町商工会 TEL 0735-42-0269 龍神村商工会 TEL 0739-78-0472 牟婁商工会 TEL 0739-35-1110

新宮・東牟婁 地域職域連携推進協議会における取組

平成 30 年 7 月 23 日 和歌山県地域・職域連携推進協議会
新宮保健所長 形部裕昭

1 平成 29 年度 地域職域連携事業 実績

1. 二次保健医療圏「地域・職域連携推進協議会」
 - ワーキング会議：平成 29 年 5 月 31 日実施、参加者 18 名
 - 協議会：平成 29 年 10 月 19 日実施、参加者 33 名
研修「和歌山健康状態の見える化事業の報告」健康推進課 中尾恵理氏
2. 健康推進員養成事業（平成 26 年度から述べ 126 名養成）
 - 平成 29 年度健康推進員養成講習会修了者数 計 39 名
 - フォローアップ研修受講者数 計 13 名
3. 地域保健・職域保健連携事業
 - ① 出張出前講座 実施回数 8 回、参加者 237 名
 - ② 運動習慣定着事業 実施回数 5 回、参加者 183 名
 - ③ 市町村健康課題分析検討会（⇒健康増進計画策定支援）
実施回数 11 回、参加者述べ 156 名
4. 「小中高から始める生活習慣病予防」出張講座
実施回数 23 回（うち防煙教室 20 回）、参加者 817 名
5. 地域職域おやこ食育教室 実施回数 11 回、参加者 215 名

2 健康増進計画策定支援

☆ 平成 29 年 1 月より新宮保健所が町村の健康増進計画策定を支援している。

<策定の流れ>

- ① 資料編の作成（既存の健康健康指標の整理）
- ② 住民向けアンケートの実施（生活習慣、健康に関するアンケート調査）
- ③ 住民グループ会議からの意見の抽出
- ④ 事業の検討（既存事業の整理）
- ⑤ 計画策定（町村計画策定委員会）

<取組状況>

- 研修会の開催（講師：和歌山県立医科大学森岡郁晴教授）
 - ① 平成 29 年 1 月 20 日 「健康増進計画の策定と評価のポイント～効果的な保健活動の展開をめざして～」
 - ② 平成 30 年 1 月 19 日 「健康増進計画策定にかかる健康指標の読み取りとアンケート集計について」
- 事務局（保健所、町村）会議（月 1 回）＝市町村健康課題分析検討会
 - 策定までの進捗管理、資料編の作成指導、アンケート作成指導

<今後の方針>

- 町村はアンケート及び住民グループ会議等を実施し、平成 31 年 3 月策定に向けて取り組む。
- 地域・職域連携推進協議会において進捗状況や方向性等の報告を行う。

健康増進計画策定過程で整理した新宮・東牟婁圏域の健康課題

①人口減少、少子高齢化が県内でも顕著

- 平成27年 圏域人口 67930人(男31409人、女36521人)、高齢化率39.1%(和歌山県30.9%)
- 推計人口 2010年 73666人 → 2040年 42818人 人口指数 58.1(和歌山県71.8)

②平均寿命:平成27年度版では、圏域全体として、和歌山県、全国より平均寿命が短い傾向

平均寿命(平成27年)	新宮	那智勝浦	太地	北山	古座川	串本	和歌山県	全国
男	79.5	79.5	79.8	80.0	79.9	79.7	79.94	80.77
女	86.1	86.5	86.3	86.6	86.5	86.0	86.47	87.01

③死因構成割合(平成23年～平成27年):①悪性新生物(27.1%)、②心疾患:16.7%、③肺炎(11.1%)・・・

④主要死因別標準化死亡比SMR(平成23年～平成27年)

	総死亡	悪性新生物								心疾患	脳血管疾患	肺炎	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
		全体	胃	大腸	肝臓	肺	乳房	子宮	前立腺							
男	96.7	101.4	105	115.9	116	92.7			83.2	100.6	83.6	100.7	115.5	87.6	113.5	84.7
女	106.4	99.9	108	104	132	96.3	96.4	95.3		111.7	105.5	116.7	62.2	110.8	104.4	78.1

※濃い色付きセルは有意差あり

⑤要介護認定率(平成28年):圏域市町村 18.4%～24.2%(和歌山県25.3%)

⑥介護に至った疾病(新規認定・要介護2以上):認知症、脳血管疾患、骨折・転倒などが多い

⑦疾病別医療費割合(平成28年度KDB)

入院:①精神及び行動の障害(25.8%)、②新生物(16.1%)、③循環器系の疾患(14.8%)

入院外:①循環器系の疾患(17.8%)、②内分泌・栄養及び代謝疾患(15.3%)、③尿路性器系の疾患(11.9%)

⑧がん検診、特定健診受診率(%)など(平成28年度)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	特定健診	特定保健指導
圏域市町村	16.2～77.6	31.5～65.6	32.3～59.4	44.7～66.3	43.7～70.3	24.6～56.8	18.2～30.8
和歌山県	25.6	27.8	28	51.3	47	32.8	29.8

⑨特定健診有所見者の割合(平成27年度)

標準化比が高い市町村が多い項目:血糖、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、HDLコレステロール

⑩特定健診質問票調査による生活習慣の状況(平成27年度)

標準化比が高い市町村が多い項目:1回30分以上の運動習慣なし、食べる速度が速い、週3回以上夕食後間食、毎日飲酒、改善意欲なし、改善意欲あり